

第 3 回世界気候会議 ハイレベル宣言 (仮訳)

我々、ジュネーブで開催された第 3 回世界気候会議 (WCC-3) ハイレベル会合に出席した国家首脳、閣僚及び首席代表は、WCC-3 専門家会合の成果に留意し、

科学的知見に基づく気候予測及びサービスの作成 (production)、有用性 (availability)、提供及び利用を強化するため、気候サービスのための世界的枠組み (以下「枠組み」という。) の構築を決定する。

世界気象機関 (WMO) 事務局長に対し、特定の組織に依存しないハイレベルのアドバイザーから成るタスクフォースの付託事項と構成員 (専門性、地域及びジェンダーのバランスを十分に考慮して WMO 事務局長により指名される) を承認するため、この宣言の採択後 4 か月以内に、WMO 加盟国の政府間会合を開催することを求める。

タスクフォースが、各国政府、パートナー機関及び関係者との幅広い協議を通じて、「枠組み」の要素に関する提言を含む報告書を作成し、タスクフォースの設置から 12 か月以内に WMO 事務局長に提出することを決定する。報告書は、「枠組み」の構築及び実施に関する検討結果並びにその後のステップについての提案を含む。タスクフォースは、別添のブリーフノートに示される概念を考慮して、この報告書の作成を行うこととする。

さらに、2011 年に開催される WMO 世界気象会議において「枠組み」及びその実施のための計画の採択を目指して検討を行うため、WMO 事務局長がタスクフォースの作成する報告書を WMO 加盟国に配布することを決定する。

WMO 事務局長に対し、国連事務総長を含む関係機関にタスクフォースの報告書を提出することを求める。